

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Green Feel 玉造		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 21日		～ 令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者それぞれの学力や特性に合わせた学習プログラムを提供しています。 コグトレ・ビジョントレーニング等で認知機能を強化する学習に加え、集団支持での理解が難しい・言葉でのイメージが捉えづらい子どもたちに向けては、聞き取りワークを取り入れるなど、多角的に支援しています。	苦手分野だけでなく、得意を伸ばす学習の取り組み。 子どもたちの「できた」という気持ちを大切に、学習へ取り組める姿勢を養います。	利用者に合わせて教材の選択、学習内容と量を調整しています。
2	送迎を行っています。	保護者・関係機関(学校・保育園等)と年間行事や下校時間の確認を行い、円滑に対応できるよう心がけています。	安心、安全に送迎を行えるよう、連絡調整を行い、職員が同乗した際は子どもたちの活動の様子を伝えられるよう、保護者との連携をさらに図ってまいります。
3	学習支援だけでなく、余暇活動で人と関わり、自身で選択・計画する経験を通し、社会性・主体性を養います。	様々な余暇活動を用意し、子どもたち自身が選び、挑戦できる機会を設けています。行事(夏祭り・クリスマス会)ではお友達と知り合い、協力することは楽しいと思えるような取り組みにも力を入れています。	プログラムが固定化されないよう、子どもたちが興味を持ち参加できる活動の提供ができるよう努めます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員があるため、利用希望に応じられず、キャンセル待ちとなる場合があります。	学習の定着を図るため週2.3回の通所を推奨しているため、時期によっては希望曜日の空きのご用意が難しい場合があります。	長期休暇の利用追加や出欠の連絡調整を行い、キャンセル待ちの方にもできる限り対応できるよう取り組んでいます。
2	ワンフロアで学習支援・余暇活動を行っているため、お子様によっては切り替えや集中に時間がかかる場合があります。	ワンフロアで学習支援・余暇活動を行っているため。	机の配置を変えたり、時間を区切ったりして、学習とあそびのメリハリを分かりやすく伝えるようにしています。 また、学習時間は静かにする等、自らの大きさの調整を意識できるように声掛けをしています。
3	全体遊びは学習支援後になるため、開催頻度が限られます。	来所時間がそれぞれ異なることもあり、全体参加は難しいため。	土曜日、長期休暇や行事を利用して、全体あそびの活動を開催しています。放課後は少人数の余暇活動を通して人と関わる機会を設けています。